



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番6号 コンセーレ (栃木県青年会館)
CONCERE 1-1-6 KOMANYU UTSUNOMIYA CITY TOCHIGI JAPAN 320-0066

(2014~2015)ROTARY CLUB OF UTSUNOMIYA SATSUKI

TEL 028-624-1417 FAX 028-624-1843 URL <http://www>.

宇都宮さつきロータリークラブ 会報

第 27 回 例 会

日 時：2015年2月9日(月)

19:00~20:00

会 場：コンセーレ

・開会 池田 光一 SAA

・点鐘 和知 孝道 会長

・ロータリーソング (奉仕の理想) 斉唱

・ビジター 和知 孝道 会長

ビジター 佐藤節特別代表 (宇都宮陽北 RC)

・会長挨拶 和知 孝道 会長

2月4日(水)にはジャパンロータリーデー in 東京に三森富雄幹事、齊藤昇吾広報委員長と3人で参加をしてみました。新入会員として、ゲイリーC. K. ホアンRI会長と一緒に記念撮影もしてみました。また、プログラムの中で、宇都宮さつきロータリークラブが、多様性のあるクラブとして、ビデオにより紹介されました。私たちのクラブをまねて、今度東京に新しいクラブが誕生する話もいただき、とても有意義な時間を過ごしてみました。7日(土)には、宇都宮グランドホテルで、第2550地区全体の会長幹事会が開催され、三森富雄幹事と出席をしてみました。各グループのガバナー補佐の皆様の報告、地区委員長の報告と大変参考になりました。その時に、3月12日(木)のIMに、1テーブル2名参加していただきたいと、幹事クラブの宇都宮東RC入江会長から依頼がありましたので、当クラブもできるだけ多くの皆さんの出席をお願いいたします。

本日は、内仲祐介国際奉仕委員長の紹介でロータリー米山記念奨学生ノン・ティ・ビクさんの卓話もいただきます。しっかり学んで参りましょう。

それでは進行宜しく申し上げます。

・幹事報告 三森 富雄 幹事

・ガバナー月信の1月号の配布

・先週、理事会の議事内容を、会員全員にメールさせて頂きました。従来は幹事報告で行っていましたが、今後はメールでお知らせしたいと思います。

・3月12日(木)16:20 インターシティ・ミーティングの出欠をとらせて頂きます。

ガバナー事務所への報告および委員会発表もありますので、その準備の為。

・2月7日(土)14:00から第2回地区会長幹事会が、宇都宮グランドホテルで開催され、和知孝道会長と私で出席してきました。ガバナー、パストガバナー、各委員長、地区役員、51クラブの会長幹事が参加で総勢150名位の参加です。内容は10グループのガバナー補佐の報告、各委員会の委員長報告です。その中で一貫して話されていたことは、相談等があったら遠慮なく委員会に相談してほしいということでした。各クラブの委員長の皆様も不明な点は、積極的に問い合わせ願いたいと思います。

・ロータリー手帳(価格648円)の興味のある方は、三森富雄にお願いします。

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

・委員会報告

各委員長

なし

・出席報告

石川 均 副会長

総員 22 名中 19 名 86.36%

・スマイル報告

石川 均 副会長

・佐藤節特別代表（宇都宮陽北 RC）

2月6日(金)財団研究会に参加してきました。

・和知孝道会長

2月1日(日)から久我臣仁さんが仲間になりました。

ロータリー米山記念奨学生ノン・ティ・ビックさんようこそいらっしゃいました。

・卓話

NONG THI BICH ロータリー米山記念奨学生

【卓話者紹介】 ノン・ティ・ビック さん

ロータリー米山記念奨学生（宇都宮東 RC）、宇都宮東ローターアクトクラブ所属
ベトナム出身 6年前に日本へ留学。2015年に宇都宮大学大学院を卒業し、春からは東京
に物流企業に就職予定。

【卓話まとめ】

ビックさんは、ベトナムのハノイから北 150 km に位置する田舎の町出身です。この辺りは 20 年前と今とであまり生活環境が変化しておらず、電気が通ったのもビックさんが高校 3 年生の頃でした。洗濯などの生活用水は川の水を使用し、食用の水は村にある共同の井戸を使用しています。

2014 年に米山記念奨学会学友委員会の辻裕司委員長（宇都宮東）と戸崎勝彦カウンセラー（宇都宮東）と共に地元の村へ帰省し、現地の現在の小学校について視察を行いました。現在の小学校は、道などインフラの整備が進んでいないことで、学校に通学できなくなることがしばしば起こります。雨が降ると河川の洪水により道が通行できなくなるため、児童たちは学校に泊まり込み、数か月間の自炊生活を余儀なくされることもあります。学習環境も決して恵まれているとは言えず、小学校の分校では屋根があるだけの建屋で、勉強のための書籍もなく、食事に関しても満足に摂れる状況にありません。そのような現状調査の中で、ビックさんは現在下記のようなプロジェクトに携わっております。いずれもベトナムの教育環境／生活環境を向上させたいとの思いで活動を行っております。

① 小中学校に図書館環境を整備するプロジェクト

図書館は日本円で 5,000 円ほどあれば十分な量の書籍を配備することが可能です。
宇都宮東 RC もこの活動をバックアップしています。

② 「ごはんにおかずを付けよう」プロジェクト

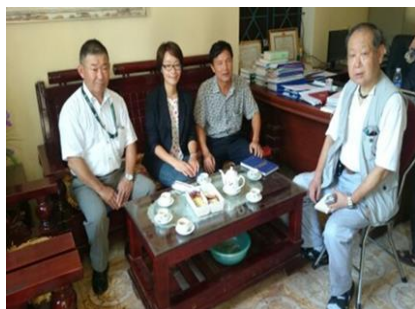
VYSA（在日ベトナム学生青年協会）が行うプロジェクト（ビックさんは栃木担当）。
ベトナムの子どもにおかずの入った給食を食べさせるプロジェクトです。
月 600 円で 1 人の子どもが 1 ヶ月、おかずのついた給食を食べる事ができます。

③ 物品寄贈プロジェクト

鹿沼の有志が集まり、ベトナムに視察旅行に行く際に文房具や衣服などを寄贈するプロジェクト。ビックさんは、訪問先などの紹介、宿泊先への連絡などを行っています。今後、ベトナムの人たちが作ったものを買って日本で販売する活動を行う予定。
その他、ビックさんは日本人でも経験することが無いような経験をたくさん行っていま

す。栃木各地の小中学生にベトナムを紹介する出前講座を行い、著名人の方の講演会の司会なども多数行ってきました。また、登山、農業体験、フォークリフト免許取得、学校では華道・茶道を行うなど、様々な活動を行ってきました。

今回のビックさんの卓話を受けて、とても多くの刺激を受けることができました。私たちの知らない海外では、まだまだ支援を必要としている人がいるということを知り、何かしてあげたいという気持ちが芽生えた卓話でした。（紹介者 内仲祐介国際奉仕委員長）



左から 戸崎カウンセラー、ビックさん
ベトナムの学校の先生、辻委員長



ベトナムの学校



「ごはんにおかずをつけよう」プロジェクト



ビックさんと和知会長

- ・ 点鐘 和知 孝道 会長
- ・ 閉会 池田 光一 SAA